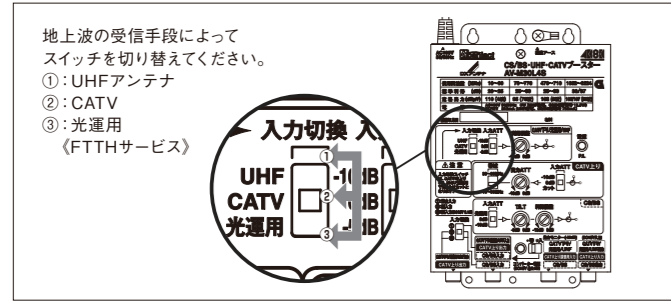


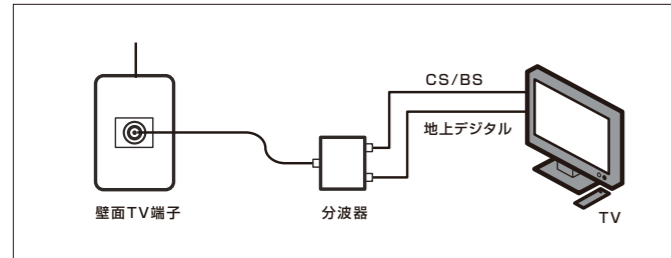
ブースタの設置

安定したTV視聴のため、ブースタの設置を推奨します。マルチブースタの場合、UHF、CATV、光運用 (FTTH) のいずれにも対応可能です。



分波器の設置

地上波と衛星放送を混合して分配している場合、分波器を使って、TVチューナーまたはレコーダの入力端子に接続してください。



故障かな?と思ったら

TV (情報盤搭載関連部材: マルチブースタ、分配器)

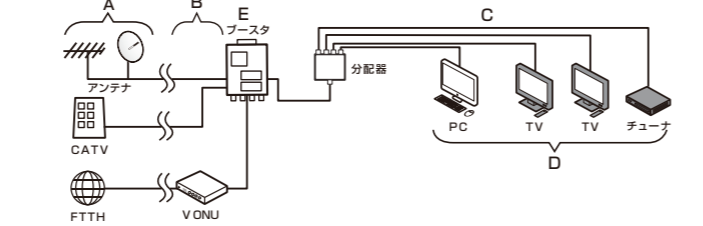


Table with 3 columns: チェック項目 (Check Item), エリア (Area), 考えられること・対処方法 (Possible causes and countermeasures). It lists 5 items related to antenna, cable connections, and booster settings.

上記とあわせて、マルチブースタの取扱説明書、簡単・接続/設定ガイド(AV-M30L4S搭載の場合)もご参照ください。

情報盤 取扱マニュアル



安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
●使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 警告 この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
注意 この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- 禁止 (してはいけないこと) を示します。
強制 (必ず守ること) を示します。

警告

- 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねないでください。また、重い物をのせたり、はさまこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
分解や改造をしないでください。故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
濡れた手で扱わないでください。電源が接続された状態で本製品や内部機器の操作を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
本製品の内部に燃えやすいもの等の異物を入れてください。高温によって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
付属の電源ケーブルを使用してください。本製品や内部機器の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
本製品や内部機器から発煙や異臭が生じた場合には、ただちに本製品のコンセントを抜いた上、施工業者様に修理を依頼してください。そのまま使用した場合、火災、感電の原因になる可能性があります。

ご利用上のご注意

- 各種サービスのご利用には別途契約、及び利用料が発生します。
情報盤内部機器以外のネットワーク機器は、本システムには含まれません。
情報コンセント以降の端末機器は、本システムには含まれません。
本システムのネットワーク設定等はお施主様で行ってください。
記載の各仕様は、実際とは異なる場合があります。



施工事業様へ

- 施工前に必ずこの取扱マニュアルをお読みください。
この説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

注意

- 以下の状態で使用しないでください。
・通気孔をふさいだ状態
・本製品の周囲に十分なスペースが確保されていない状態
以下の場所で使用しないでください。
・直射日光のあたる場所
・暖房器具などの近くなど高温になる場所
・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気の多い場所
・振動の多い場所
・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
・ほこりの多い場所やじゅうたん等の保温性、保湿性の強い場所
・腐食性ガスの発生する場所
・強い磁気や電磁波が発生する装置がある場所
・壁の中などお手入れが困難な場所
・住宅以外の屋内設備 (本製品は家庭環境における使用を想定しています)
定期的に製品内部の点検を行ってください。
本製品は、使用環境の影響や製品の劣化によって正常に作動しなくなる可能性があります。
定期的に本製品や内部機器の点検を行い、製品の變形、異常な発熱、焦げくさい臭い等が発生していないか御確認ください。
本製品の内部機器にはほこりが付着すると湿気などで絶縁不良となり、感電の原因になる可能性があります。ほこりが堆積されている場合、コンセントを抜いた上、ほこりを拭き取ってください。
気になる箇所が判明した場合には、ただちに使用を中止し、施工業者様にご連絡ください。

製品保証書

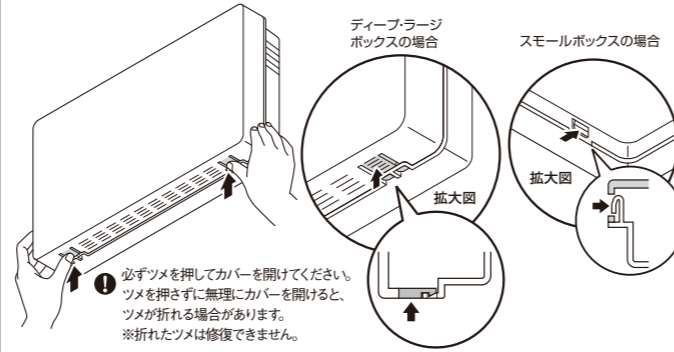
Product warranty form with fields for product name, purchase date, customer name, address, and phone number.

【保証規定】※必ずお読み下さい。 ※型式、製造番号は本製品カバー内側に記載しております

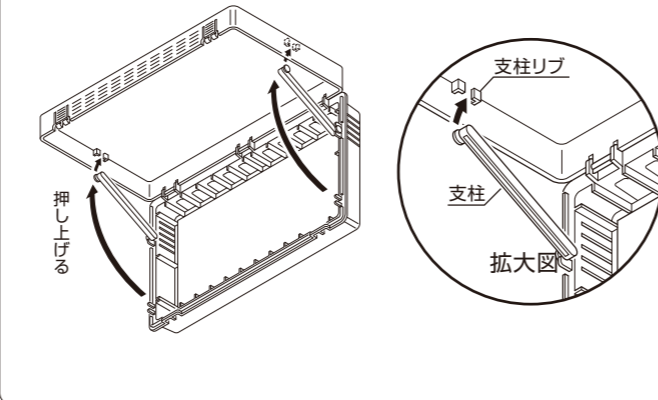
- 第1条 (保証内容)
第2条 (保証手続)
第3条 (免責)
第4条 (その他)

情報盤の開閉について

①本体下面の両サイドにあるツメを押し、カバーの引っ掛けをはずします。

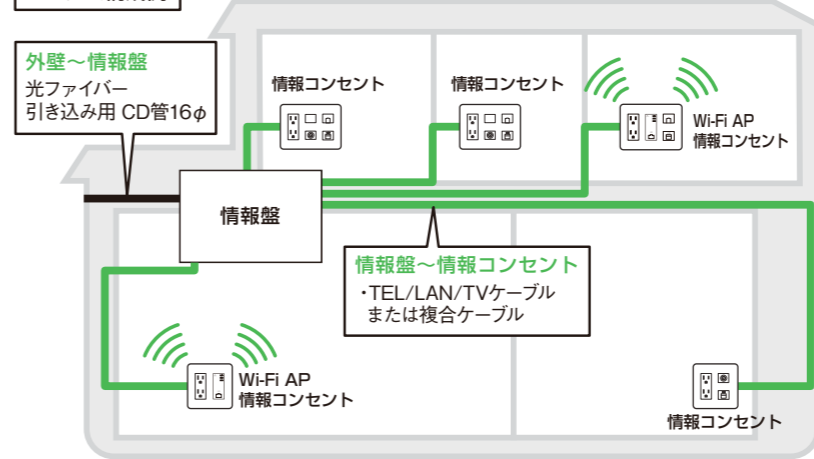


②BOXカバーは開いた状態で保持できるようベース両側サイドに支柱があります。この支柱を下から上に押し上げ、カバー部裏面の支柱リブに止めて保持してください。



マルチメディア情報配線システムについて

システム構成例

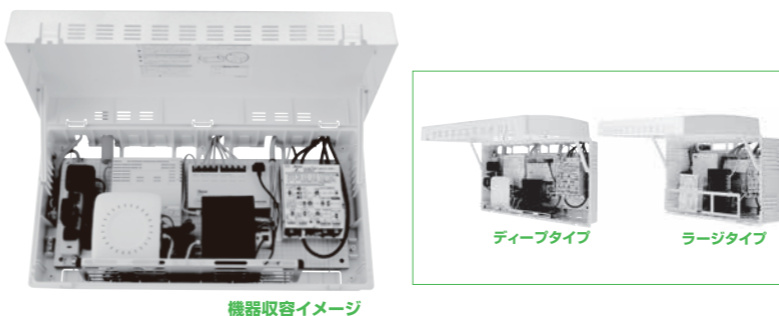


インターネット接続機器を情報盤につなぐことで、各部屋の情報コンセントでネット利用ができます。

- 特長1 FTTH、CATV、ADSLなど全てのブロードバンドサービス、通信業者にも対応しています。
特長2 光電話 (IP電話)、テレビ放送サービスを合わせたトリプルプレイにも対応しています。
特長3 各部屋から、パソコン、ゲーム機、テレビ、ブルーレイレコーダなどをネット接続できます。
特長4 接続は有線LANですので、確実につながり、セキュリティ面も安心してお使いいただけます。

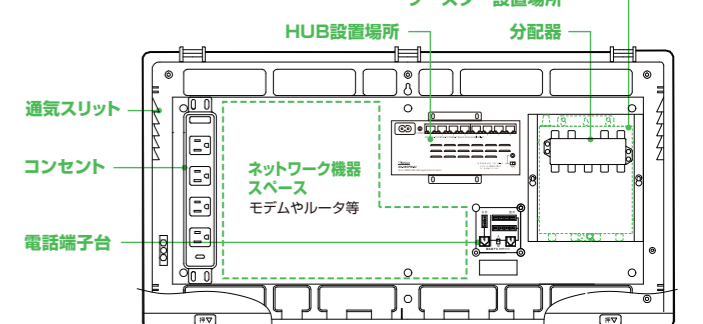
情報盤とは

ブロードバンドに対応した1000BASE-Tのインフラシステムを構築するための弱電集中BOXです。電話回線を分配、切替する電話端子台と宅内LANを構築するスイッチングハブ、及びTV系の機器 (ブースターや分配器) を収容可能な住宅の制御盤です。ディープタイプ、ラージタイプ、スモールタイプがあります。



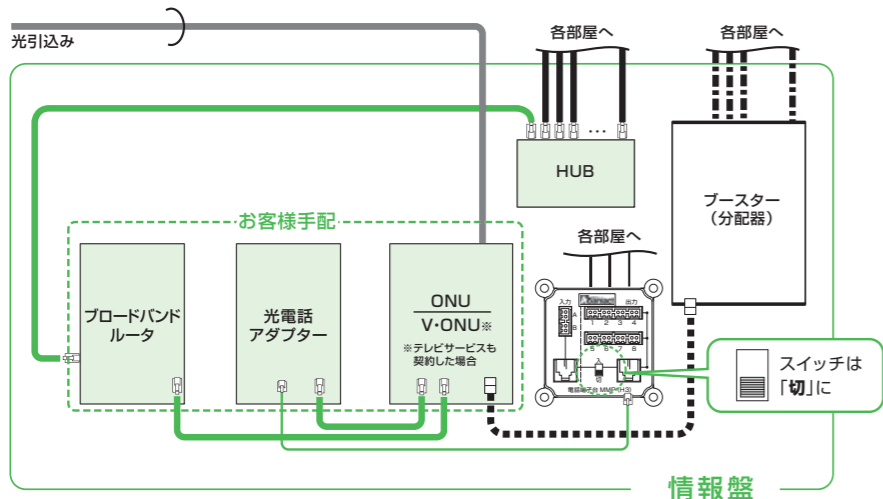
機器収容イメージ

各部名称と機能 (例)

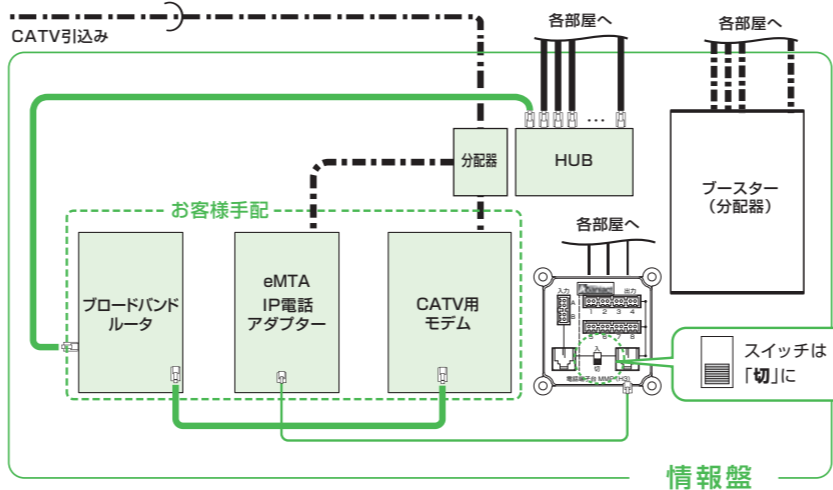


①ご契約の通信業者様にて、情報盤内に各回線を引き込み、モデム・ONUなどで終端します。②各通信機器を所定のケーブルで接続します。

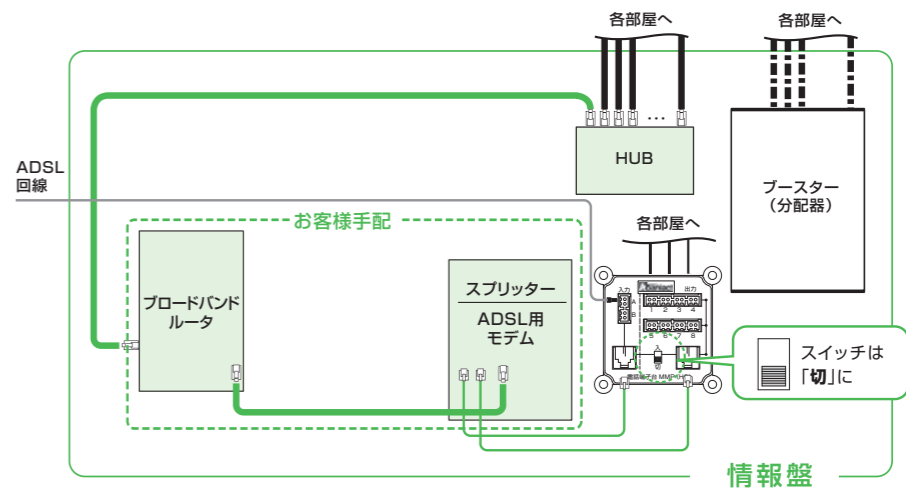
光ファイバーの場合



CATVの場合

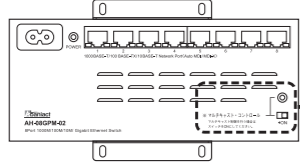


ADSLの場合



IPv6映像配信サービス利用時のご注意

光回線において「IPv6マルチキャスト通信」を利用した映像配信サービスをご契約の場合は、HUB本体の「マルチキャスト・コントロール」スイッチをONにして、ご利用ください。

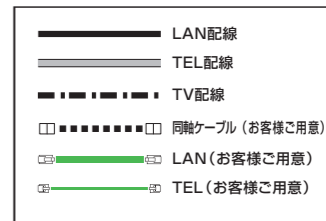
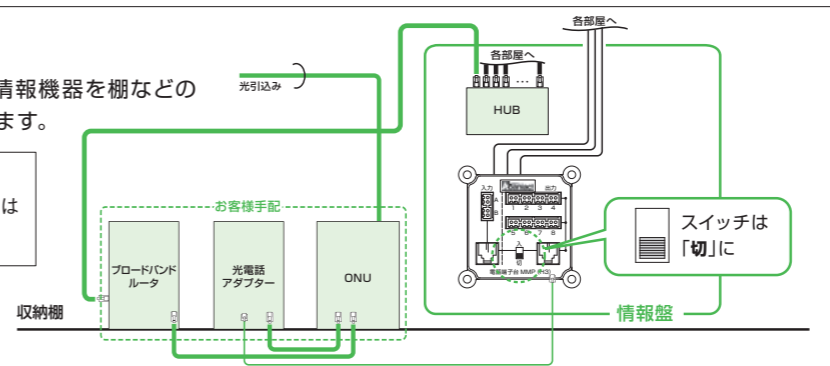


※ マルチキャスト・コントロール
マルチキャスト制御を行う場合は
スイッチをONにしてください。

スマートタイプの場合

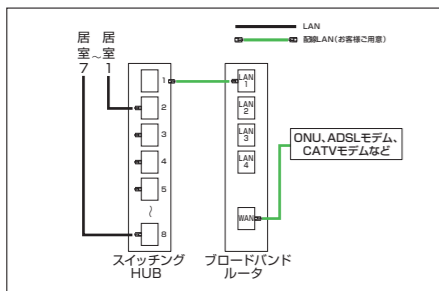
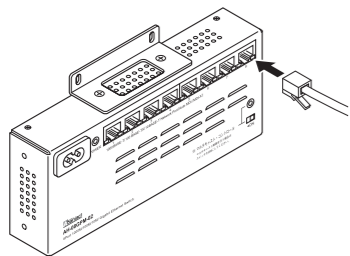
スマートボックスの場合は、情報機器を棚などのボックス外に設置し、接続します。

右図は一例です。
ボックス内に収容される場合は
この限りではありません。



LAN(ネット利用)に関するご注意

HUB設置タイプの場合の機器接続方法
ブロードバンドルーターとスイッチングHUBは
下図を参考に接続してください。



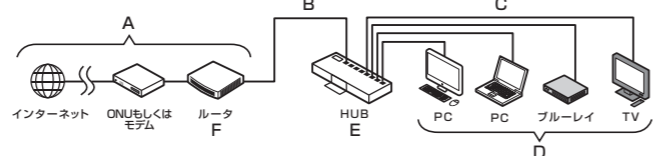
ルーターの設置について
本情報盤にはルーターが含まれて
おりませんので、必要に応じて
別途ご用意ください。

無線LANルーターを情報盤に
収容した場合、電波が正しく
届かない可能性があります。

その場合、無線機器の居室内への設置、
またはWi-Fi情報コンセントの設置を
おすすめします。

故障かな?と思ったら

LAN (情報盤搭載関連部材: HUB)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	インターネット回線自体に不具合が起きていませんか? 回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムやルーター、HUB等に異常、接続ミスはないか	A, E	各通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※)
3 LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか	B, C	各通信機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか? LAN、ケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のLAN配線については、ハウスメーカー様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 ルーター機能、もしくは接続は正しいですか?	B, F	ルーター機能もしくは通信機器の接続は正しいですか? ルーター機能が無いと複数箇所同時にインターネットにつながりません。(※)
5 使用端末に異常はないか	D	お使いのパソコン等の機器に不具合が起きていませんか? 最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※)

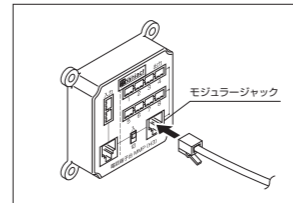
※各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様、回線業者様にお問い合わせください。
上記とあわせて、Abianact Gigabit HUBの取扱説明書(AH-08GPM-02、AH-14GPM-01搭載の場合)もご参照ください。

TELに関するご注意

電話端子台への接続方法

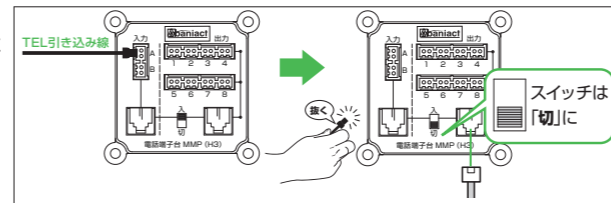
光(IP)電話アダプタを電話端子台に接続することで、各部屋で電話がつかえるようになります。

接続にあたっては、電話アダプタ付属のモジュラーケーブルを利用して、下図のように、電話端子台の右下のモジュラージャックに接続してください。



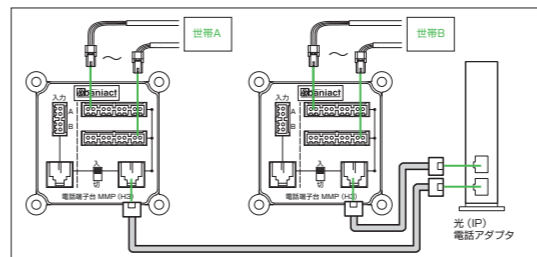
光電話等をご利用の場合は、

電話端子台の「入力」ポートに接続されている「TEL引き込み線」を外してください。
(一部、屋内配線に雑音等の影響を与える可能性があります)



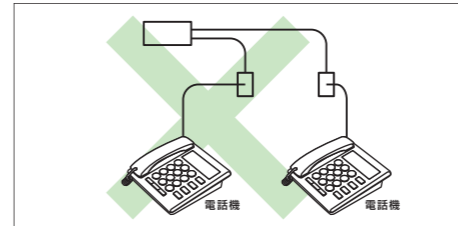
2世帯などで、電話番号を2番号

利用する場合は、電話端子台を増設し、回線(番号)ごとに配線システムを分けてください。
※電話端子台の追加は、本情報盤を施工された工務店、電気工事店様等を通じてご購入ください。



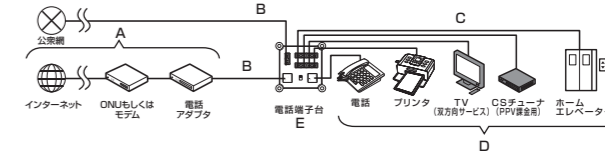
電話機の接続について

ひとつの電話回線(配線)に、複数台の電話機を接続(ブランチ接続)しないでください。
FAXの通信エラー、ナンバーディスプレイなどの機能に支障があり、正常に動作できなくなる場合があります。



故障かな?と思ったら

電話 (情報盤搭載関連部材: 電話端子台)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	電話回線もしくはインターネット回線に不具合が起きていませんか? 契約内容も含めて、回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムや電話アダプタに異常、接続ミスはないか	A	通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※1)
3 TEL引き込み線に異常はないか	B	外部引き込み線、もしくは電話アダプタ~電話端子台間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか? ケーブルの抜き差しもしくは、交換をしてみてください。
4 TEL配線、モジュラージャック(電話コンセント)、モジュラーケーブルに異常はないか	C	断線や接点部の接触不良が起きていませんか? モジュラーケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のTEL配線については、ハウスメーカー様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
5 使用端末に異常はないか	D	お使いの電話機等端末機器に不具合が起きていませんか? 最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※1)
6 電話親機を一つの電話回線に2台以上つないでいないか	D	電話親機を、一つの回線(配線)に複数台同時につないでいる(※2)と、ナンバーディスプレイやFAX、電話の呼び出し音などが正常に動かなくなります。電話親機の接続は1台だけにしてください。(プリンター、FAX専用機、チャーン等は除く)(※1)

※1...各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせください。
※2...ブランチ接続